



TOPIC
1

高年次教養セミナーに参加して

「高年次教養セミナー」は、主として3～4年生を対象とし、すでに専門の勉強に取り組み、また就職活動や留学などを経験した後に、改めて教養を深めたいと感じた方々に向けた科目です。2018年度後学期には「高年次教養セミナーⅡ」が開講され、履修者のほかにも、「履修はしなかったけど面白そうだから聞きたい」という学生が飛び入りで参加した回もありました。



第1回 林正子先生



第2回 佐々木実先生



第3回 堀田亮先生



第3回終了後の懇親会の様子



第4回 小山真紀先生



第5回 デイビッド・パーカー先生

TOPIC
2

ますますパワーアップ！高年次教養セミナー

2019年度も、昨年度に引き続き、高年次教養セミナーを開講しています。前期と後期はそれぞれ独立した科目で、どちらか一方だけを履修することもできます。前期の第1回は、なんと森脇学長が担当されました。ほかにも個性的な先生方が勢ぞろいで、通常授業よりも身近にお話を聞くことができます。貴重な機会なのでお見逃しなく！

前学期 高年次教養セミナーⅠ

- 第1回 4月19日（金）森脇久隆（学長）日本人の健康とがん
- 第2回 5月24日（金）小川陽子（教育学部）〈作者〉とは？誰が作品を作るのか？—『源氏物語』から考える
- 第3回 6月7日（金）國貞隆弘（医学部）幹細胞と遺伝子編集は人類の未来をどう変えるか
- 第4回 6月21日（金）小嶋智（工学部）世界の山脈はどのように造られどのように壊れていくのか
- 第5回 7月26日（金）西尾洋（教育学部）音楽で考える束縛と自由

後学期 高年次教養セミナーⅡ

- 第1回 10月11日（金）高木朗義（工学部）防災・減災を「わかる」から「できる」へ
- 第2回 11月15日（金）中川寅（応用生物科学部）動画で見る細胞の世界
- 第3回 12月13日（金）白村直也（教育推進・学生支援機構）彷徨う夢の行き先は—ロシア革命100+2周年を振り返る
- 第4回 1月10日（金）村井利昭（工学部）分子が拓く世界
- 第5回 1月24日（金）立石直子（地域科学部）親子とは何か—法律から親子関係を考える

会場は岐阜駅前サテライトキャンパスで17:30からスタートです。コーディネーターは、野村幸弘・教養教育推進部門長（教育学部教授）です。

TOPIC 3

教養講演会を実施しました

教養教育推進部門では、2016年度から毎年、2～3回のペースで、教養教育の重要性を伝えるために、「教養講演会」を開催しています。

今回で第8回目となる教養講演会では、「**中国語を歩く：日中漢字の意味の違いを考える**」と題して、NHK テレビ・ラジオの中国語講座でおなじみの荒川清秀先生（愛知大学地域政策学部教授）のお話をうかがいました（2018年11月27日）。

中国の街中で見かける看板や掲示物に使われている表記をたくさん取り上げ、それがどのような意味なのかを考えるのですが、先生の選りすぐりの問題はなかなか難しく、正答になかなかたどり着かないことも……。こうして、中国語においては日本語とはまた異なった漢字の世界があるということを実感することができました。

多くの中国語に興味のある学生に参加いただき、非常に活発な質疑が行われました。アンケートでは「大学に入ってから中国語を学んできましたが、知らないことが多く、勉強になりました。類似点もちろんありますが、やはり他言語なので、同じ漢字を見ても日本語の意味で思い込んでしまう」と少し危ないかもしれないと思いました」という声も聞かれました。



荒川清秀先生



講演会の様子

TOPIC 4

FD・SD研究会が開催されました

昨年度末の3月1日、「**学生から見た教養教育と学びの空間**」というテーマでFD・SD研究会が開催されました。研究会ではまず、「E-plus」という大学の授業改善を考える学生有志グループの代表である堀山英杜さん（工学部4年生）が、これまでの活動の経緯を紹介し、教養教育の重要性について熱く語ってくれました。

続いて、名古屋工業大学の足立愛実さん、同研究科の伊藤宏毅さんから「東海地区のラーニング・コモンズの現状」について発表がありました。卒業論文、修士論文のために、実地調査を行い、各大学がどのような特徴をもっているか、自主学習空間全体の中でラーニング・コモンズどのような機能を果たしているか、その調査結果をわかりやすく報告していただきました。

さらに、教養教育推進部門の池田祥英先生からは、「多様化する教養教育」とのタイトルで、私立大学と国立大学で、教養教育がどのようなカリキュラムで実施されているか、とくに東京工業大学と早稲田大学の事例を詳細に紹介していただきました。

最後に質疑応答がなされ、学生および教員から多くの質問や意見があり、他の参加者からもコメントが寄せられるなど、活発な議論がなされました。今回の研究会を通し、教養教育の推進および学生の自主的な学びの必要性について改めて考えることができました。



発表する堀山さん



名古屋工業大学の伊藤さんと足立さん

TOPIC
5

岐阜駅前サテライトの授業時間が変わりました

岐阜大学には、みなさんがいつも通っている柳戸キャンパスのほかに、JR 岐阜駅前サテライトキャンパスがあることをご存じでしょうか。実は、全学共通教育科目のなかにも、この駅前サテライトで開講されている授業があります。

2019 年度からはちょっと開始時間が早くなり、7:50 スタートになりました。終了時間も 10 分早まり、9:20 に終わります。間違えないように気を付けてください！早起きしなければいけません、その分 1 日を有効に使うことができ、終わった後はあまり混雑していないバスでゆったり通学できるかもしれません。授業は、「コンピュータのための数学概論」(前期月曜 1 限)、「北欧のことばと地域の方言」(前期月曜 1 限)、「科学論入門：近代的自然観と自然科学」(前期水曜 1 限)、「アイスランドのことばと文化」(後期月曜 1 限)、「財産と法」(後期火曜 1 限) など多岐の分野にわたって開講されています。後期の授業もお楽しみに！



TOPIC
6

イングリッシュ・センターからののお知らせ

—イングリッシュ・キャンプ— 今年度も実施予定です！！

9 月 25 ~ 26 日 (1 泊 2 日) で学外研修施設 (長良竜東町) にて、英語圏でのホームステイ感覚を体験してもらうことをねらいに、英語のみを使用言語とする合宿を実施しました。初年度は 5 名の教師と 18 人の学生が参加し、3 回の食事を自分たちで作り、散歩、軽スポーツ、ボードゲーム、プレゼンテーションなど英語のみを使用して意欲的に活動しました。事後アンケートによると参加学生の満足度はとても高かったです。今年度は昨年度より募集人数を増やして、名古屋大学の学生からも参加者を募り、9 月中旬に 2 泊 3 日での実施を予定しています。場所は昨年と同じです。是非、参加をお待ちしています！



Getting-to-know-you icebreakers!

—イングリッシュ・エクストラ・リーディング— 毎週水曜日の午後開催中！！

昨年度 11 月 ~ 1 月まで、学習者の志向と英語リーディング能力の重要性を考えて、授業外での英語読書の推進を目標に、多読教材を用いたリーディングセッションを開催しました。この 3 ヶ月間の延べ参加人数は、合計 47 人 (学生 44 人、職員 3 人) でした。



Fun games and conversations

—再履修の方法について—

イングリッシュ・センターの発足により、各学部の英語科目のカリキュラムが統一され、2019 年度から「再履修」の場合は、他学部対象の同一科目を履修できるようになりました。しかし、油断せず、真剣に取り組むようにしましょう。

2019 年度 全学共通教育 新規開講科目

2019 年度に新たに開講されている全学共通教育科目は以下の通りです。

教養教育推進部門では、E-plus の学生のみなさんと協力して新規開講科目についての案内を作成しました。担当の先生方に科目の内容について簡単な紹介文を書いていただいております。『全学共通教育科目履修案内』やウェブ上のシラバスと合わせて参照いただき、興味を引く授業を探してみてください。

科目区分	分野	科目名	授業名	担当教員	所属	学期	曜日	時限
人文科学	歴史学	中国・朝鮮半島史	中国史	塚本 明日香	地域協学センター	後	火	5
	文学	外国文学	英米文学を読む	林 日佳理	教育学部	後	月	5
	文学	日本文学	百人一首の世界	小川 陽子	教育学部	前	火	3
	言語	言語学入門	岐阜県の方言、日本語、世界の言語	山田 敏弘	教育学部	前	月	4
	言語	言語学	北欧のことばと地域の方言*	大宮 康一	地域協学センター	前	月	1
	言語	言語学	アイスランドのことばと文化*	大宮 康一	地域協学センター	後	月	1
社会科学	経営学	経営学入門	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス入門	益川 浩一 他	地域協学センター	後	月	2
	社会学	現代社会論	宇宙時代を生きる	宮坂 武志	工学部	後	月	3
自然科学	数学	基礎統計学	実感する統計学	高橋 周平 他	工学部	後	火	4
	化学	化学入門	身の回りで起こる現象から最先端技術に関わる化学	近江 靖則	研究推進・社会連携機構	後	月	4
	自然科学総合	自然科学総合	昔と今のものづくり	中田 隼矢	教育学部	前	月	3
	自然科学総合	自然科学総合	化学と生命科学	安藤 香織 他	工学部	前	月	2
	自然科学総合	自然科学総合	古典に学ぶ(偉大な科学者の学問と人生)	新田 高洋 他	工学部	後	火	3
	実験講座	自然科学実験講座	金属を使ったものづくり	中田 隼矢	教育学部	後	集中	
スポーツ・健康科学	健康科学講義	ヘルスプロモーションと地域保健	石原 多佳子・小林 和成 他	医学部看護学科	後	月	4	

* サテライト早朝クラス

教養図書コーナーがさらに充実!

図書館の3階に「教養図書コーナー」が設置されており、手に取りやすい文庫(スタンダードな古典が中心)や新書(様々なテーマについて一般人向けに解説するものが中心)の棚と、シリーズもの(新書よりも一回り大きい「選書」が中心)の棚が置かれています。2018年3月時点では約2,100冊だったのが、12月には約2,700冊に拡充されました。いろいろな本が読みたいけど、何から読めばいいかわからない、という人はまずこの棚から探してみるとよいでしょう。今後もさらに教養図書を充実させていく予定ですので、どうかご期待下さい!



教養図書コーナー (シリーズもの)



教養図書コーナー (文庫・新書)

教養教育推進部門 (2019年4月現在)

部門長 野村幸弘 専門分野 美術史学

副部門長 瀬瀬 守 専門分野 化学

副部門長 橋本永貢子 専門分野 言語学

副部門長 清島絵利子 専門分野 日本語学

学修支援部門 (2019年4月現在)

副部門長 廣内大輔 専門分野 高等教育論

岐阜大学 教育推進・学生支援機構 教養教育推進部門

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

TEL.058-293-2169

email: gjea01008@jim.gifu-u.ac.jp

<https://twitter.com/GifuKyoyou>

<https://www.facebook.com/GifuKyoyou>

野村幸弘 清島絵利子 責任編集